

■令和2年度会計の決算及び監査について

来る令和3年4月10日(土)、第2回運営委員研修会において、令和2年度の一般会計並びに特別会計の執行についての監査を予定しています。

結果につきましては、第64回総会研修会で報告させていただきます。

続いて

■令和3年度会計予算編成について です。

□まず、一般会計予算編成についてです。

先ほどの「企画研修委員会」からの報告にありましたように、今後も続く会員の減少に伴う収入減に対応するため、引き続き緊縮型の予算編成に当たっていきたくと存じます。

平成28年度の「組織の在り方検討委員会」の決定を受けて、平成29年度から5年間で総額10,000円値上げする計画で実施してきました。令和3年度はその最終年度に当たり、会費が2,000円値上げとなります。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、活動内容が変更になり、予算の執行においても変更が生じました。会費については、通常どおり納入していただき、支出面での見直しをはかり、補正予算案を組んで執行しました。令和3年度においても状況に応じて会計執行していきます。

続いて

■特別会計に関して、ご説明します。

1の地区研修補助金についてですが、各地区には現在、会員数によって決められた基準額が支出されています。12ページの表で、ご確認ください。

次に、2の地区校長会活性化支援事業に関してですが、**研究実践交流事業掲載謝金**として、1地区1万円配当します。

全連小海外教育事情視察参加補助ですが、今年度実施がなく、令和3年度もありません。

令和4年度の割当ては4ブロックになりますが、この事業については今後見直しがあるかもしれません。

令和2年度は、感染症関係で機関会議での会同が少なかったことから、補正予算案を組み、旅費の未使用分を雑収入に組み入れて、緊急時地区活動推進補助金として各地区に配当しました。

令和3年度についても、感染状況等を鑑みながら、補正予算案を組んで会計執行してまいります。

◆最後に、理事研修会資料の最終ページをご覧ください。

基金についてです。

道小も道中も、新会員から基金としまして、5,000円拠出していただいておりますが、

小中一貫校や義務教育学校の校長として発令された場合の、基金の拠出額につきまして、平成28年7月15日の小中合同研修会の場で検討し、このように確認されておりますことを、ご報告いたします。

道小と道中への拠出額の割合4対6は、全連小と全日中との申し合わせ内容に準じていますので、ご理解ください。